

第1号

令和5年度 長崎市立長崎中学校 学校だより

覚悟

R5.4.11 発行
校長：種吉 信二

始業式あいさつより

先週実施した始業式で1・2年生の生徒に話した校長あいさつの一部をご紹介します。

※大谷選手のCMを視聴した後

先日の修了式では、WBCの決勝を前にして大谷選手がチームメイトに対する呼びかけについて紹介をしました。難しい問題に直面した時に「どうせできっこない」と考えるのか「やってみればなんとかなるさ」と考えて挑戦を重ねるのかで結果が変わるという話です。

大谷選手はたぐいまれな身体能力や体格に恵まれています。だからメジャーリーグやWBCで大活躍し、MVPを受賞するのは当たり前なのですが、その陰にはあきらめずに挑戦を続けた姿勢があってこそだということがこのCMをみて改めて感じました。

大谷選手ほどの超一流の選手であれば、壁にぶつかったり、つまずいたりすることはなさそうですが、そんなことはありません。試合に負けて流した涙の数は「秘密」というくらいこれまで悔しい思いをしています。成功する人とそうでない人との違いは、持って生まれた能力によるところもありますが、もしかしたらそれ以上につまずいたり失敗したりした時にどのように考えるかということにありそうです。

大谷選手は、新しいことに挑戦し、目標を更新して自分で自分のモチベーションをあげていけば成長につながると信じています。そして、自分が成長した瞬間を楽しみにして生活しています。結果も大事だけれどその過程がもっと大事だと考えています。

私たちは、失敗したら「能力がない」とか「素質がない」とあきらめてしまいがちですが、「いつかはできるようになる」「伸びしろが大きい」「成長を楽しめる幅が広い」というふうにしなやかに考え、挑戦する習慣を身につけることができれば必ず壁を超え、成功に近づけることでしょう。

このようなことを踏まえて、春休みに長中のすべての先生方で今年の目標を考えました。長中の生徒の良さと課題を洗い出して、どのような生徒になってほしいかということをまとめました。そして、令和5年度の目標を「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」としました。そのためには、これまでも取り組んできた、「自律」「調整」「創造」の伸長に焦点を当てた取り組みを行うこととします。

また、取り組みの柱を、各教科の授業で生徒主体の学びを実現すること、あえて困難な課題に挑戦する起業体験学習を行うこと、そして失敗を笑うのではなく支え合うことができるような集団作りを推進することとしました。

生徒の皆さんが、将来の夢やあこがれの実現に向けて、さらに主体的に学校や家庭での生活を送ることができるよう取組を進めていきます。先生方も失敗を恐れずに目標実現に向けて取り組んでいきます。そこで、先生方の合言葉を「覚悟」としました。

生徒の皆さんも時には困難にぶつかったりつまずいたりすることもあると思いますが、その時は自分が成長するチャンスだと信じ、困難なことから逃げるのではなく、挑戦を楽しむくらいであってほしいと願います。

令和5年度の合言葉は「覚悟」としました

先日お知らせしたとおり、この春の人事異動で、新たに8名の新転入の職員を加えて令和5年度がスタートしました。

早速、春休みには新しい先生方を交えて生徒の学習面や生活面で優れているところと課題を確認しました。そして、今年度の目標を「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」とし、特に、生徒の「自律」を高めるために様々な取り組みを学年、教科、校務分掌において行っていくことにしました。さらに、課題解決に向けて「覚悟」を持って取り組んでいくことを確認し、今年度の合言葉を「覚悟」としました。お子様のことや学校のことでわからないことなどがあれば、各学年の先生を通じてお尋ねください。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

4月の主な行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
11	火	身体測定	18	火	1年市学力
12	水	2・3年育成会	19	水	1年心電図
13	木	2・3年学力診断	24	月	避難訓練
14	金	生徒会入会式 歓迎遠足	25	火	3年内科検診
			27	木	2年内科検診
16	日	家庭の日	28	金	1年内科検診
18	火	3年全国学力 2年県学力			

※基本的に毎週水曜日は、部活動は休みです。

※14日は、弁当の準備をお願いします。